

構造改革の誤り—中谷巖『転向』と竹中平蔵「強弁」

- 3・13 構造改革・規制緩和の誤り—竹中平蔵元総務相（自民『聖域なき構造改革を推進する会』で講演）「民営化は民間の経営に任せること。枠組みを作るのは政治家の仕事だが、経営判断に立ち入ることは厳に慎まなければならない」、「（郵政民営化）放っておいたら、国鉄のようになることは間違いなかった」（鳩山氏「かんぽの宿」問題発言）これができないと民営化の否定に等しい」「民間の経営判断に立ち入らない節度が政治の世界に求められている」／元財務官僚・高橋洋一・東洋大教授（竹中元経済財政担当相の側近で小泉構造改革の「キーパーソン」と言われていた）（参院予算委で）
- 「構造改革とは何かといつも聞かれた」「私の認識では、構造改革（としてやったの）は三つしかなかった。不良債権（処理）・道路公団民営化、郵政民営化だけだ」、「小泉元首相らに『構造改革は何か』と尋ねた際、『当たり前のことをやるだけだよ』と言われ、よくわからなかった」（3・14A）
- 3・14A「構造改革の旗手、行き過ぎた市場経済を批判—中谷巖氏『転向』の波紋—『正直』『責任は』賛否両論—『空気に過敏な論壇』—『人間、成長して意見変える』中谷氏に聞く」
- ⇒3・13 政府・郵政民営化委員会（田中直毅委員長）、郵政民営化「見直し」意見書を首相に提出—「4分社体制に問題はない」（3・14M）
- 3・21A「減反大幅見直し、農家半数『必要』—米どころ、本社・東北大調査」「将来像、農家に温度差—大規模ビジネス・生活維持を重視」
- 3・14 もがく世界経済—リーマン・ショックから半年、金融の公的管理進む—輸出依存、日本に深い傷」
- 3・14 G20（ロンドン郊外）、共同声明出し閉幕—財政出動などで（3・14 各紙朝刊）
- 3・14M夕「G20 声明案—早期財政出動で一致、IMFが検証へ」／A夕「追加も経済策、財政出動30円超—財務相会談—与謝野氏、米に表明」
- 3・15N「協調優先、各論で温度差—G20 共同声明、財政出動目標見送り」

／A(社)「G20 金融会議—危機克服へむけ—一体感を」

→3・20Y「日本成長率5.8%減—09年、世界も初のマイナス—IMF予測」
—G20でIMFが提出した資料で、09年の世界全体の成長率はマイナス0.5
～マイナス1.0%の成長予測、09年の日本の成長率はマイナス5.0%と予測
(09・1時点の予測値—マイナス2.6%を下方修正)

- 3・14 **ソマリア沖海賊対策**—3・13付海上警備行動発令で第8護衛艦「さざなみ」
「さみだれ」2隻、ソマリア沖へ向け出航
→3・14A「海自、霧中の船出—新法、成算ないまま—海賊対策派遣命令—
首相『法の不備あり危険』—インド洋とソマリア沖『二正面』重い負担」
→3・16H(主)「自衛官出航—海外派兵の強化を許さない」
→3・18Y「『海賊襲撃』緊迫SOS、ソマリア沖現場を歩く—各国海軍警
戒、漁船と判断困難」「ソマリア沖現場を歩く—『俺たちは漁師、海賊じゃ
ない』、拘束しても訴追に難題」

西松違法献金事件—麻生首相政権の延命を支える

- 3・13 **有識者会合 83 人発表**—政府、3・16～21「経済危機克服のための『有識者
会合』メンバー／10分野で各1回、75～90分程度の意見発表」(3・14A)
- 3・14 **A「春、解散踏み切るか—夏以降麻生降ろしも、補正成立しても多難」**「給
付金の次の策、公明決め手なし—減税には慎重姿勢」「景気策未体験ゾーン、
公共事業軸に政策総動員—規模先行、財源は借金」
⇒3・13 **麻生首相** (記者会インタビュー)、衆院解散、総選挙時期につい
て「予算やら経済政策がきちんと実行に移させる条件が整わないといけな
い。景気対策、政策がきちんと実行された段階だ」(3・14M)
→3・16T「解散は6月以降か—首相、補正予算成立を優先」「衆院選より
補正成立優先—民主に対抗、景気テコ入れ—麻生降ろし再燃必至」「沈む、
『選挙の小沢』—全国行脚中断『酒のまずに眠れぬ』」
→3・16T「春闘総崩れの危機—自動車、電機『ベアゼロ』見通し、18日に

集中回答—『定昇守りきる』『重点は雇用』／H『『あきらめない』広がる—労組結成・加入、4ヵ月余136件1600人—非正規切り撤回へ—労働局申告、1ヵ月あまり29件120人へ—

3・16

→3・17N「製造派遣、原則ゼロ—リコーやトヨタ系、直接雇用にシフト」
A「秋田でも小沢氏側配慮—談合組織県事業で」／M「西松系2団体、パーティー『偽装』—実態は『社内』懇親会、献金の原資隠し」「地方行脚遠慮がち—こんな時期にうかがってよければ…小沢氏、本格復帰はいつに」／
Y「西松、東北で請負3位—過去5年、大手3社上回る」
→3・16H「西松マネー、自・民沈黙—追及は共産党ばかり」
→3・17A「鹿島元幹部が受注調整—小沢氏側から『天の声』が」「首相、G20バネに延命策—財政出動で反転狙う—政権浮揚の保証なし」「小沢氏、まだまだ首相目指す—米タイム誌表紙に、『選挙に勝てば責任果たす』」「政態拝見—政治は沈むか—自民、民主、再生力の勝負」／M「西松元幹部、『横やりを恐れ献金』—公共事業受注、小沢氏側へ年2500万円」

有識者会議と大型補正策と—麻生「次の一手」

→3・16 政府・有識者会議始動—追加経済政策の策定めざし→3・21まで10テーマ、計83人の意見交換予定（3・17A）

→3・17Y「有識者会議スタート、日本の英知結集演出—贈与税を無税に／還付付き消費税—脱『霞ヶ関』模索、言いつ放し懸念も—『ばらまき』克服課題」「首相は、追加景気対策優先—解散、夏までない？—『反麻生』も補正成立待ち」

→3・18A「小沢氏、見えぬ本心—来週にも進退判断、観測交錯—沈黙守る岡田氏、鳩山・菅氏も慎重」『春解散を』—転、公明先送り期待—内閣支持率低迷を懸念」

→3・20N「政治資金規正規則で与野党応酬—企業・団体献金争点に—選挙へ改革姿勢、消極論も根強く」「企業・団体献金の収入—自民93億円、民

主 12 億円—禁止にも抜け道多く」

3・17

A (世論調査) —2・上～3・13 全国 3000 人郵送法、有効回答 2419 人

①麻生内閣—支持率 16%、不支持 79%

②政治への関心度—大いに 31%、ある程度 48%、あまりない 16%、全くない 3%

③政治への満足度—大いに 1%、ある程度 6%、やや不満 31%、大いに不満 60%

④今の生活の満足度—大いに 20%、ある程度 35%、やや不満 40%、大いに不満 21%

⑤日本の政治の国民の意思の反映度—大いに 1%、ある程度 10%、あまり反映せず 52%、全く反映せず 35%

⑥日本政治は、社会の将来像や道筋を示しているか—示している 6%、示していない 91%

⑦日本の政治に、1 番必要なものは—理念 10%、実行力 24%、責任感 27%、国民感覚 37%

⑧日本の政治家への信頼度—大いに 1%、ある程度 18%、あまり信頼せず 57%、全く信頼せず 21%

⑨ 2 世議員の問題性—問題ある 65%、構わない 28%

⑩日本の政党への期待度—期待 39%、期待せず 61%

⑪ 2 大政党への期待度—2 大政党 56%、多くの政党並立 33%

⑫今後の政権—自民中心 11%、民主中心 15%、自・民大連立 19%、政界再編で新政権 46%

⑬自民党の日本発展への貢献度—大いに 13%、ある程度 59%、あまり貢献せず 18%、全く貢献せず 4%

⑭政界再編への期待度—再編が起きた方がよい 68%、そう思わない 24%

⑮15 年前の政治改革での衆院小選挙区比例代表制の導入—よかった 25%、よくなかった 58%

⑯政治改革で企業・団体献金の代わりに政党交付金を導入したこと—よか

った31%、よくなかった56%

⑰企業・団体献金はすべて禁止すべきか—すべて禁止すべし57%、いまのまままでよい32%

⑱国民投票制度の拡大の可否—広げた方がよい73%、不要20%

⑲衆院選比例区での投票先—自民27%、民主44%、公明5%、共産6%、社民3%、国民新1%…

⑳05年の衆院選で自公が3分の2超の勢力になったこと—よかった46%、よくなかった44%

㉑日本の社会における所得格差の許容度—許容範囲内31%、行き過ぎ62%

㉒これからの日本の行く先—よくなる9%、悪くなる48%、あまり変わらない39%

→3・18A「『政治大いに不満』60%、9割『民意反映ない』—本社世論調査」

3・14 M「裁判員除外7万人、調査票回答—70歳以上や重傷、法律家や警察官—候補者の4分の1」

→3・14A「裁くのはあなた、あと2ヵ月—動き出す裁判員時代—取り調べの自白、どう判断?—数十分の映像、法廷で上映—『一部録画では不十分』の声、根強く」

→3・15M「裁判革命②国民参加を前に—公判前整理手続き—密接の協議…予想外否認、『合意』が崩れる時も」

→3・14A(社)「性教育判決—創意つぶす『不当な支配』」

→3・15Y(社)「性教育判決—過激な授業は放置できない」／T(社)「『不当な支配』認定—教育介入へ当然の判決」

→3・18M(社)「『不当な支配』判決—教委の存在意義が問われた」

3・17 N(社)「日本経済の選択①—30兆円の総合対策を—本社主幹・岡部直明」

→3・17T「春の解散風吹かず—思惑違えど『補正成立後』—首相、経済対策で挽回図る／反麻生、西松事件展開見極め」『第7艦隊で十分』—『逆風』小沢氏に首相攻撃—民主の弱点、安保で追い打ち」

→3・17H「二階氏地元の南紀白浜空港工事費—『西松』が5割受注、和歌山」

⇒3・17 民主・小沢代表、退職に言及—「来週にある種の結論が出ると思うので、そのときに改めて考えを話したい」(党役員会)(3・17A夕)

⇒3・17 民主・小沢代表(定例記者会見)、企業・団体献金「全面禁止」論、(進退問題)「そう遠くないうちに(検察)当局の判断示される。その結論が出た時に判断する」(3・18A) 献金禁止、事前調整なく民主困惑も」

→3・18M「小沢代表『企業・団体献金を禁止』—進退は『検察判断後』」

／Y「政治とカネ、改革アピール—企業・団体献金禁止、事前調整なく民主困惑も」

→3・18A(社)「政治資金規正法—これで『公開』と言えるか／企業献金禁止に踏み出せ」

→3・22M(社)「企業・団体献金—全面禁止を真剣に論議せよ」／H(主)「企業・団体献金禁止—検討だけでなく実行が大切だ」

→3・22H「企業・団体献金止まったなし—『政治改革』の経過が物語るもの—ゼネコン疑惑・中心人物が『改革』唱え—改革法案、小選挙区制にすりかえ—その後、抜け道づくりを直撃」

3・16 H「アフガン戦闘 31%増—国連、情勢悪化を警告—総長報告『軍事のみの解決ない』」—3・14までの総長報告—08年の軍事衝突が07年比で31%増、「08年は(米軍がアフガン攻撃した)01年以後最悪の年となった」、08年の民間人死者2118人、米軍など軍事作戦に起因する死者828人(うち68%が空爆による)

3・15 中米エルサルバドル大統領選—反米左派・フネス候補(49)勝利(3・16A夕)—開票率33%の中間集計、旧ゲリラ左派政党ファラブンド・マルティ民族解放戦線(FMLN)のマウリシオ・フネス氏が51.3%、新米右派の民族主義共和同盟(ARENA)のロドリゴ・アビラ氏(44)48.7%(3・16N夕)→フネス氏51.4%(開票率92%)(3・17A)

→7・17H「エルサルバドルに左派大統領—新自由主義・対米従属転換選ぶ、

中米にも変革の波」→3・18H(主)「エルサルバドル選挙—米国のくびき破る歴史的変革」

イラク開戦6年—アメリカ「戦争政策」の挫折

- 3・16 イラク—2・下米軍がイランのイラク領空侵入のイラン無人機の撃墜を公表(米軍報道官)(3・17A) / アフガン—南部ヘルマンド州都ラシュカルガで自爆テロ—少なくとも警官9人死亡、30人負傷(3・17A)
⇒3・16 パキスタンで自爆テロ(首都イスラマバード隣接のラワンピンディ)—市民11人死亡、20人負傷(3・17A夕)
→3・20M(社)「イラク開戦6年—米国からの自立を応援したい」 / T(社)「イラク開戦6年—軍事—辺倒は何も解決しない」
→3・21M「米、撤退控え融和に軸—イラク開戦から6年—『対テロ戦』言葉消え、宗派・民族間残る火種」—イラク戦争での死者、多国籍軍兵士4577人(3・17現在)、民間イラク人死者9万9692人(3・16現在)—ロイターイラストから(3・16現在)
→3・22A「貧窮イラク、開戦から6年—国内避難270万人、衛生劣悪」
- 3・17 プリンズホテル「日教組」宿泊拒否事件、送検—07・11日教組第57次教権集会参加者宿泊予約(08・1・31~2・4、190人分予約)を07・11,12一方的予約取消しにつき、警視庁保安課がグランドプリンスホテル新高輪とグランドプリンスホテル高輪の両社長と両ホテル支配人、計4人と法人を旅館法違反で書類送検(3・17各紙夕刊)

闇サイト死刑判決と原発「安全」盲信の逆転判決と

- 3・18 闇サイト強殺、2被告に死刑判決—名古屋地裁(近藤宏子裁判長)、07・2会社員・磯谷利恵さん(当時31)が名古屋市千種区で、携帯電話「闇サイト」で知合った男3人に拉致・殺害された事件(強盗殺人)で、元新聞セールス・神田司(33)、無職・保利慶末(33)の両被告に死刑、無職・川岸健治

被告（42）に自首を考慮し無期懲役の判決（3・18A夕）

→3・19A「死刑の選択、どう判断—悪質性重視、近年強く—裁判員候補『難しい』」（社）「闇サイト殺人—この極刑判決で考える」／M（社）「闇サイト殺人—死刑基準めぐり論議深めよう」／Y（社）「闇サイト殺人—自首が死刑と無期を分けた」／T（社）「闇サイト殺人—死刑判決はやむを得ぬ」

→3・20N（社）「裁判員の重さ示す死刑判決」

3・18 **志賀原発運転差止控訴審「逆転」判決—名古屋高裁金沢支部**（渡辺修明裁判長）、北陸電力志賀原発2号機（石川県志賀町、改良型沸騰水型炉）につき、16都府県128人が北陸電力を相手に運転差止めを求めた訴訟で1審の取消し判決を取消す敗訴判決、「原子炉の安全性は確保されており、住民の生命・身体を侵害する具体的危険性は認められない」と判示（3・18A夕）
—06・9改定の耐震設計審査指針を「妥当」として（3・18Y夕）

→3・19A「志賀原発判決—耐震のお墨付きではない」／M（社）「志賀原発判決—耐震安全は恒常的に見直しを」

→3・20T（社）「原発逆転判決—不安は解消されない」

3・18 **原爆症・広島2次訴訟判決—広島地裁**（野々上友之裁判長）、広島で被爆の23人が国に原爆認定と1人300万円の慰謝料の支払いを求めた訴訟で、未認定の5人のうち3人を認定、「厚生労働相は、尽くすべき注意義務を果たさず、誤って申請を却下し、原告に精神的苦痛を与えた」と判示し、国に計99万円の慰謝料の支払いを命じ、残2人の認定申請を棄却、18人（07・4新基準で認定済み）のうち16人に「訴えの利益なし」と全面敗訴（3・18A夕）

→3・18N夕「原爆症認定、初の賠償命令—広島第2次訴訟で地裁、国に99万円—『漫然と申請却下』」

→3・19H「原爆症、初の賠償命令—広島2次訴訟で地裁判決—5人認定、国は15連敗」『解決の道筋できた』—国の責任、全原告に及ぶ」

3・18 「名ばかり」管理職マクドナルド事件控訴審で和解—東京高裁（鈴木健太裁判長）、日本マクドナルド店長高野広志氏（47）の「名ばかり管理職訴訟」

で和解成立—和解金 1000 万円、提訴を理由とした降格、配転、減給をしない条件など (3・19M)

→3・19M「高野さん感慨—マクドナルドと和解、勝ちとった生活向上—今も苦しむ店長たちの援護になれば」「広がる残業減の動き—『名ばかり』管理職和解、外食産業に影響」

総崩れ「09 春闘」—労働運動のあり方を問う

3・18 児童扶養手当、受給 100 万人突破 (厚労省まとめ)—08・12 時点で 100 万 552 人、過去最多に (3・19T)

3・18 「大手・軒並みベアゼロ—日立も定昇凍結、春闘—斉回答」(A 夕)

→3・18 Y 夕「『春闘ベアゼロ』続々—斉回答」「ベアゼロ…あきらめの声—春闘、派遣労働者カヤの外」/N 夕「賃上げ、4 年ぶりゼロ回答—定昇凍結広がる」

→3・19M「総崩れ、09 春闘—『最後の—線』定昇まで、雇用でも成果乏しく—8 年ぶりベア要求/世界不況が直撃—脱『金属疲労』模索の動きも」/Y「ベアゼロ、定昇凍結—厳寒春闘—労使、平行線のまま—強気—辺倒、連合に批判も」→3・20A「年度末に派遣村—『解雇の季節』各地で相談・食事支援」

→3・20A(社)「雇用の安全網—使われやすい仕組みを」「09 年春闘—政労使で雇用に取り組み/ベアゼロ回答—『雇用の維持』の約束忘れるな」

→3・21H「年度末控え派遣村、あたり前の社会目指して共同を—雇用・金策…なんでも相談」「たたかい全国各地で—『本来なら私たちは正社員』申告運動広く、35 企業で 131 人—行政を動かす、指導企業は 2250 社」「『派遣切り』許さない—『力を合わせれば道開ける』労組に入った、150 件 1800 人超える—『派遣村』次々、相談・支援に全力—数々の成果、厚労省が新『通知』」

→3・21 Y 夕「年度末『派遣村』に列—埼玉、愛知、大阪で相談会」

- 3・19 法曹人口増「見直し」提言—日弁連、「当面の法曹人口のあり方に関する提言」を公表—「弁護士人口の増加に比べて、当初想定された環境整備が進んでいない」とし、「3千にこだわるのは不適切」、数年間は2100～2200人程度に抑えるよう求める（3・20A）
- 3・22A「裁判員時代の事件報道へ—信頼される記事、積極的に」「朝日新聞の新しい指針—情報の出所を明示／容疑者・被告と捜査側、言い分対等に」

3・24 勾留満期を前に—小沢代表の「抗戦」の裏表

- 3・19 民主・小沢代表、鳩山幹事長と会談—「自分の身がどうなっても構わない。政権交代を阻止したいという様々な力に徹底して闘っていく」「麻生太郎首相も気づいていないだろうが、検察のひどいやり方に国会議員が屈したとすれば、次は政権与党側に来る。政権を取っても同じようなことが続くだけだ」（鳩山氏が公表）（3・20N）
- 3・20Y「『ポスト小沢』視野に—民主に動きじわり」
- 3・21M「民主小沢代表『徹底抗戦』宣告—続投？辞任？緊張高まる党内」
- 「公明、解散先送りムード—首相ペースに恨み節も」
- 3・19 仏、労働者ゼネスト入り—国鉄、国営航空エールフランス、公立校教職員など主要労組が全国ゼネスト150万～200万人（全国約200都市で）—給与引上げ、公務員ポスト削減見直し、失業対策など求め（3・20Y）
- 3・21H「仏全土300万人行動—『経済対策は不十分』」
- 3・20H「『西松マネー』全容解明を—構図＝政界に4億8000万円—小沢氏突出、20人近くに」「原点＝ゼネコンと政界、続く癒着—公共事業に『天の声』、追求し続けた共産党」「害悪＝税金還流、国民が被害—受注企業献金はワイロ」

高齢者「漂流」政治の果て—渋川「たまゆら」の惨事

- 3・19 高齢者ホームで爆死7人—群馬県渋川市「静養ホームたまゆら」火災死事件（99年設立、NPO法人彩経会運営、20数人入所、うち15人が墨田区からの紹介の生活保護者、当直1人のみ）—全焼で7人死亡→3・21 死者10人に（3・20 各紙夕刊 3・22A）
- 3・21A 「7人死亡、群馬の施設—高齢者漂流、法の死角—都市部から紹介相次ぐ、増える無届け届かぬ監視」「迫る火、動かぬ体—群馬の施設、車いすの人も—近隣とトラブル、倒れた入所者迎えに訪れず」
- 3・21A 「住民火災の死者、高齢者が6割超」—08年の火災概要（総務省まとめ）、総死者数1967人（対前年38人減）、うち放火自殺を除く住宅火災死者1123人、うち65歳以上は711人で、初めて6割超える—住宅火災死者は6年連続で千人超える、65歳以上は10年前の449人（51.9%）からその割合大きく／死亡経過で「逃げ遅れ」が667人で最多／総出火件数は5万2394件—原因の1位は放火の6283件、12年連続トップ、2位はコンロが5531件、3位はタバコで5062件
- 3・21A タ「施設火災—死者9人」「群馬9人死亡、火災報知設備なし—施設、法規則の対象外」／Mタ「老人施設火災、粗雑な造りで被害拡大—死者9人に、増改築繰り返し」「『美容院にもいけない』不満抑えつつましく—連絡先、『福祉事務所』の人も—長期入所350人、墨田区の生活保護」「夜間手薄、職員1人—過去の惨事と類似点」
- 3・22A 「入所者の孤独、浮き彫り—群馬の火災、連絡拒む親族も—死者10人に、失火の見方」(社)「高齢者施設火災—福祉行政と防災の貧しさ」
- 3・22M 「墨田区ずさん調査—訪問年1回のみ、防火設備対象外—群馬・老人施設火災」「受け皿不足無届け急増—群馬・老人施設火災—行政の対応後手に」「サービス抑制政策の誤り—服部万里子立教大教授」
- 3・22T 「無届け施設『貧困にビジネス』—漂流高齢者の受け皿、10人死亡火災—生活保護費をあてに—『医療、介護費抑制政策が背景』」「入所後、

『墨田区担当者に会わず』一元入所者証言、区と食い違い」 「行政指導対象外の施設—『手出しにくい』群馬県」

- 3・21 東京「開花」発表（気象庁）—平年の1週間、昨年より1日早い—靖国神社の標本木が5～6輪以上の開花を確認へ（3・21各紙夕刊）

「奇妙な安定」麻生内閣とミサイル破壊命令と

- 3・21 N「麻生内閣『奇妙な安定』、発足半年—政界、西松事件を注視」 『麻生おろし』小休止の機運—自民内、政策論に軸足『09年度補正まで協力』 「企業・団体献金—民主内に温度差」
- 3・20 米財政赤字177兆円（米議会予算局発表）—09会計年度（08・11～09・9）の財政赤字が史上最悪の約1兆8450億ドル（約177兆円）、前年度赤字の約4倍の見通し、国内総生産比（GDP）の13.1%（対前年3.2%）／米連邦預金保険公社（FDIC）、08・10～12期の米商業銀行と貯蓄金融機関の全体の赤字額は321億ドル（約3兆円）—調査対象8305行（3・21A夕）
- 3・21 Mタ「西松献金事件、捜査大詰め—世論次第の『国策』批判」
→3・21Y夕「小沢氏元秘書参考人聴取—高橋元議員、陸山会前会計責任者」
→3・22A「小沢氏の影響力拡大—談合仕切り役、岩手出身者に交代—ゼネコン汚職後」
→3・22M「『西松』献金総選挙前の立件—検察OBも『なぜ？』—以前は影響に配慮、『金額も軽微』指摘」／H「小沢氏側、パーティー券8年で9.5億円—購入者判明、6.2%だけ—陸山会に大手『上納』」
- 3・21 政府、有識者会議終了—3・16～3・25合計84人出席、提言／経済界、追加策30兆円規模要請
→3・22N「有識者会議終了、追加策に反映—『脱霞が関』『成長力』を重視—経済界、30兆円規模を要請」
→3・22T「解散、粘りたい首相—7月サミット後に照準、党内退陣論耐えられる？」

3・21 A 「ミサイル破壊命令へ―北朝鮮『衛星』、日本落下に備え」

→3・22N 「政府、月内にも破壊命令―北朝鮮ミサイル迎撃へ即応態勢―米軍と連携、24時間警戒」「発射後は各連携で圧力―安保理開催即時に要請、中ロの出方不透明」「PAC3、東北に配備―数に限界、調整苦慮も」

•